

# 三育だより

2020年12月23日発行

2020年度第2号

学校法人三育学院 東京三育小学校

〒177-0053 練馬区関町南2-8-4

TEL 03-3920-2450

URL <https://www.tokyosaniku.ed.jp/>



校訓「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。」(口語訳聖書)

## 「Give First」

学校長 平田 理(ひらた まこと)

クリスマスの季節を彩る美しい花々。その中であっても、「ポインセチア」は鮮烈な赤色によって、この季節の到来を強く目に語り掛けてくれる存在です。今では季節を代表する、この鉢植え植物は、メキシコ原産です。ポインセチアがクリスマスに重用されるようになった理由の1つが、色と言われています。赤は「キリストの流した血の色」、緑は「永遠の命と愛」、白は「純潔」を表し、まさにクリスマス・カラーの花だからです。

1820年代、初めてメキシコへの大使として派遣された、ジョエル・ポインセット(Joel Roberts Poinsett 1779-1851)によって米国に持ち帰られたこの植物は、スペイン語では「Noche Buena(聖なる夜)」、別名でもある「クリスマス・フラワー」としてよりも、通名「ポインセチア:Poinsettia」として知られています。

クリスマスの夜。メキシコの貧しい家庭に育った少女ペピタは困っていました。従兄のペドロに、教会のクリスマスの集いに誘われていたのです。その集いでは、プレゼントを持ち寄り、クリスマスをお祝いする習わしがあり、子どもたちはそれぞれ、献げるためのプレゼントを準備するようになっていました。しかし、貧しいペピタには、献げる品物もプレゼントを買うお金もありません。泣いていたペピタに、ペドロは「神さまはどんなにちいさなものでも、真心を込めた献げ物を喜んで下さるよ。」と慰めました。気を取り直したペピタは、道端に咲いていた草花を束ねて、心を込めて小さなブーケをつくりました。恥ずかしい気持ちを抑えて教会で献げようとする、その小さな草花のブーケは、深紅の大きな花束に変えられたのでした。(ジョアンヌ・オープンハイム著『ポインセチアはまほうの花』より)

贈り物をもらうことやプレゼントの品物にばかりに話題が集まる季節ですが、深く優しい赤色の花に伝わるお話から、クリスマス・プレゼントの大切な意味を教えられます。現代のクリスマスでは、自分の楽しみや喜びを満たすことばかりに夢中になり、大切な人を想う気持ちや真心を込めた贈り物を献げることが忘れられがちです。神さまは先ず、イエス・キリストを人類への最高の贈り物として献げて下さいました。世界で最初のクリスマス・プレゼントは「もらうこと」でなく、「与えること: Give First」から始まったことを忘れてはなりません。貧しい少女ペピタも、彼女の「真心」と「自分にできる最高のこと」を先ず献げた時、神さまからの大きな祝福、「深紅の花束(Noche Buena)」を受けたのでした。



未曾有の感染症拡大は、現代社会に様々な制限をもたらしたばかりか、人々の心の中にも内向き思考やつながることへの障壁を造り出しているのかも知れません。様々な隔絶を余儀なくされる社会にあっても、自分にできる、小さなGive: 献げ物を忘れずに過ごしたいものです。

『また、自分の持ち物はすべて神からいただいた物だとわきまえ、困っている人には喜んで分け与えるように教えなさい。そうすれば、神の前でたくさんの善をほどこす者となり、自分のために、ほんとうの宝を天に積むことになります。これこそ、未来に備えて永遠のいのちの基礎を築く生活です。』(リビングバイブル テモテへの手紙 I 6:18,19)



Tokyo San-iku Elementary School

Since 1898

# 東京三育小学校

# 校内行事報告

## 修学旅行

例年修学旅行は、6月末に平和学習として沖縄を訪問しますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で実施できるかどうか、ぎりぎりまで協議を重ねました。代替案になりましたが、6年生と担任の先生のお祈りのうちに、10月25日～27日の2泊3日で山梨県河口湖へ修学旅行に行くことができました。2日間は快晴で、稜線が鮮やかに見える雄大な富士山を目の前に、忍野八海、風穴・氷穴、富士山世界遺産センター見学など、神様が創造された大自然を満喫しました。楽しみにしていた沖縄旅行が中止され大変残念でしたが、6年生みんなで3日間を過ごすことが出来て、神様にたくさんの感謝をしました。2日目の夜には献身会を行い、共にいてくださる神様をこれからも信頼し続け、お祈りしていく決心を分かち合いました。



## 祈 禱週



SDA東京中央教会牧師・森田栄作先生によって、「ヨセフ物語」を通して神様を信じて祈り続ける時、困難も益とされ、想像もしない方法で助けられました。祝福されるとお話しいただきました。お祈りすること、私たちは神様に赦されているので、私たちも互いに赦し合おうと子どもたちの心に語りかけてくださいました。



## いも掘り

平田 理校長先生の指導のもと、1,2年生が紅はるかを収穫しました。神様が雨を降らせ、太陽を照らし成長させてくださった紅はるかを、みんなでわくわく・どきどきしながら掘り出しました。



## 遠 足

今年度は学校全体で同じ場所で活動することはできないため、学年を分散させ、学年に応じて歩いて行ける場所を選びました。久しぶりに広い場所で存分に体を動かし、楽しみました。



## ス ポーツレクリエーション



10月恒例の保護者会主催のバザーが実施できなくなったため、子どもたちが喜ぶプログラムが行えないかと保護者の皆様のご尽力とご協力、代替プログラムとして学年ごとのスポーツ交流や制服のリサイクル販売が行われました。



オンラインでは三育フーズ・日高昆布・韓国のりの販売も実施され、保護者の皆様の献身的なお働きに感謝しました。



## 避 難訓練

地震発生時の避難訓練を実施しました。放送の指示をよく聞いて、しゃべらない、落ち着いて速やかに行動することを学校全体で確認しました。これからも互いに命を守る・適切な行動が出来るように繰り返し訓練を重ねます。



コロナ禍にあっても2学期は休校措置を取ることなく無事に終わられました。12月25日～1月6日の間冬期休暇となります。皆さま佳いお年をお迎えください。また来学期もよろしくお祈りいたします。